

病気シリーズ

ネコの肥大型心筋症

猫に多く見られる心筋症は、心筋の状態によって、心筋症、拡張型心筋症、拘束型心筋症の3つに分類されます。その中で最も多く発生するのが、心筋がどんどん厚くなっていく肥大型心筋症で、心筋症全体の7割以上になります。

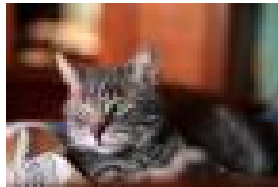
この肥大型心筋症は心臓の筋肉がどんどん厚くなるため、心臓の内腔もどんどん狭くなります。このため心臓は体が必要とする血液を全身に送り出す事ができなくなり、様々な症状が出てきます。

【症状】

心筋症があっても初期の場合は、ほとんど症状が見られないため、ほとんどの飼主さんは気がつくことはありません。心筋症が進行してくると様々な症状があらわれてきます。最初は以前に比べておとなしくなったり、運動後に疲れやすい、運動したがるなどの運動不耐性がでてきますが、年のせいだと思って見過ごしてしまうこともあります。さらに病状が進行してくると、肺に水がたまって(肺水腫)呼吸困難をおこしたり、血栓ができて後肢の動脈に詰まってしまい、突然後肢が麻痺してしまう場合もあります。肺水腫や血栓症が起こった場合は命にかかわる事も多くあります。

【治療】

現時点では心筋症を完全に治す方法はありません。現在行われている治療は心筋症の進行を少しでも遅くできるようにと、できるだけ症状が出ないようにするための内服薬の投薬です。早期に治療が始められれば予後が長く期待でき、合併症で苦しむ事も少なくなります。“年のせい”とは思わず、何かおかしいと感じた時は早めの受診をおすすめします。



歯科シリーズ

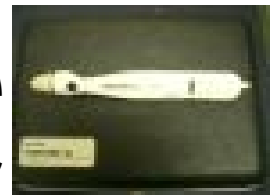
犬や猫に“歯”はホントに必要な??

ワンちゃんやネコちゃんなどの食肉動物にとって噛むという行為は、食べ物を飲み込めるだけの大きさに切断する事にあります。歯が無くなれば食べ物やオモチャを捕らえる機能は低下しますが、飼主さんに飲み込める大きさの食事を与えてもらえば、食べて体重を維持することはできるでしょう。ヒトは十分に歯を使って食べるため、歯が無くなると、歯を支える歯槽骨といわれる部分に加わる力が無くなり、歯槽骨の骨密度が低下したり背骨のゆがみなどの影響が出てきます。食肉動物ではもともと歯槽骨に伝わる力が弱いため、歯が無くなることによる影響はヒトほどではないと言えます。しかし、歯周病になると歯を失うだけではなく、細菌による影響がワンちゃんネコちゃんの全身を脅かすこともあります。歯磨きによる歯石・歯垢の除去はワンちゃんネコちゃん達にとってとても重要なのです。

<医療機器紹介>

トノペン眼圧測定器

眼球の内部には液体が入っています。この圧力を眼圧と言い、病気によってこの眼圧が変動します。測定は点眼麻酔をした後、機械の先を眼の表面に軽く触れさせて行います。簡単な操作で、動物に大きな負担をかけることなく測定する事ができます。



犬で多く見られ、対応が遅れると失明に至る緑内障の診断、治療成果の確認のために頻繁に使用します。緑内障は早期発見、早期治療が何より大切です。

「ポスターを貼らせて頂いていいですか？」

近い時期に続けてこんなお願いがありました。

『里親探してます』・・・一般の家の方で、柴犬系の雑種の女の子2頭。

『子犬貰ってください』・・・愛護活動をされている方で、大牟田市動物管理センターの子犬達。

それと同時期の2月3日(土)・4日(日)に荒尾のユメタウン(シティーモール)で“ラストポートレート”という写真展がありました。病院の出入り口に上記の2件のポスターの横に貼っていたものです。これは動物管理センター(大牟田ではありません)で最期の時を迎えなくてはならなかった犬・猫の写真展です。少しの時間ではありましたが行って来ました。写真展とはいってもユメタウン内の一部の広場を借りた小さなものでした。それでもその中の“ここに居る犬達は首輪をしているコばかりです”という一文が重たく感じました。行かれた方いらっしゃるでしょうか・・・そして2件の里親探しますが、一般の家の方の2頭は、無事飼主さんが見つかったそうです。大牟田市動物管理センターの方は・・・1頭でも多くの飼い主さんが見つかるといいのですが・・・ご存知の方もいらっしゃると思いますが、管理センターでの預かり期間は決められています。今回のポスターの呼びかけ期間もう終わっていますが、ポスターをお持ちになった方の「こういう犬達がいる事を少しでも多くの方に知って欲しい」という思いから、まだ貼ってあります。動物病院にかかる患者さんは少なくとも1頭、また何頭ものワンちゃん・ネコちゃんと一緒に暮らしている方がほとんどです。そこで新しいコを!!とは、なかなか難しいのが現実ですね。ポスターにも書いてありますが、少しでも紹介など力になれるといいのですが・・・また、責任をもてない命をつくらない事が一番ではないでしょうか・・・

ポカポカと暖かく気持ちの良い春・・・と思ったら・・・いつからかアレルギーに苦しむ春になってしまった私ですが、皆様は大丈夫ですか？この時期、人間だけでなくワンちゃん・ネコちゃんもアレルギーに苦しむコが多いんです。そこで、皮膚疾患・アレルギーに苦しむワンちゃん・ネコちゃんに良い食品・ハーブ・栄養素をご紹介します。

月見草オイル豊富に含まれたγリノレン酸がホルモンバランスを整え、皮膚の炎症を緩和し再生を促進します。ペット用のサプリメントがあります。

亜麻仁油オメガ3脂肪酸が豊富で、他にビタミンA(ベータカロチン)、ビタミンE、自然の酵素を含み、炎症性疾患、免疫疾患、腎不全、ガンなどに良いとされています。ワンちゃんには好きな味のようにですが、ネコちゃんは嫌いなコもいるようです。ペット用サプリメントがあります。

魚油(サーモンオイルなど)EPAやDHAなどのオメガ3脂肪酸を豊富に含んでいます。ペット用サプリメントがあります。

ボスウェリア(フランキンセンス)インドの医術アーユルベータで古くから使われているハーブの1つ。抗炎症作用、鎮痛作用があります。ペット用サプリメントあります。

ネトルビタミンC、B、Eを多量に含みミネラル、鉄、カリウム、マンガンのような微量元素も豊富です。強壮作用、浄化作用、解毒作用、抗炎症作用、収斂作用があります。ペット用サプリメントやシャンプーがあります。

甘草(リコリス)抗炎症作用や副腎皮質ホルモン様作用、強壮作用があります。高血圧など持病があったり長期の使用の時は注意が必要ですので、サプリメントより皮膚に塗るクリームの方が使いやすいでしょう。

クルクミンウコンに含まれる黄色い成分で、処方食にも含まれているものがあります。抗酸化作用、抗炎症作用、抗菌作用の他、肝臓の働きを良くし解毒を助けます。

ナツシロギク人では片頭痛に良いとして有名なハーブですが、抗炎症作用があり皮膚病にも使用されます。ペット用サプリメントやシャンプーがあります。

ビール酵母お腹の調子を整え消化吸収を助ける事で血液循環や免疫システムを改善する働きがあると言われています。また健康な皮膚・被毛を作り自然の防虫効果もありノミやダニから守ります。

ビーポーレン(蜂蜜花粉)パーフェクトフードとして世界中で愛用されています。AからKまで全てのビタミン、全ての脂肪酸、抗酸化成分(フラボノイド、ポリフェノール等)ミネラル、アミノ酸、酵素など90~100種類にも及ぶ栄養素含んでいます。自然治癒力や免疫力をつけます。ペット用サプリメントがあります。

以上のようなものを上手に食事に取り入れれたり普段のお手入れで使用することで、快適な時を過ごさせてあげましょう。どんなに体に良い物でも過剰にとりすぎると良くないので必要な物を適量使用するようにしましょう。また、現在常用しているお薬がある場合は使用前に獣医師にご相談ください。



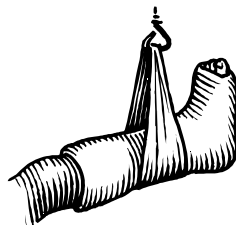
わんこ・にゃんこ日記

最近、身近に起こった話なのですが・・・

突然、実家の母からの電話。“足を骨折し緊急入院した”との知らせでした・・・。
原因を聞いたところ、

母の愛犬ラム  (最近太り気味なT.プードル)

を抱え庭に出たところバランスが崩れ階段から落ちたというのです。ラムに怪我はなく、至って元気で何事も無かったかのよう・・・。しかし、母は手術が必要ということでした。入院した整形外科の看護師さんに聞いたのですが、散歩中に犬に引っ張られて骨折し、入院される患者さんも結構いらっしゃるそうです。皆さんも十分気をつけてくださいね。



* 4月・5月は狂犬病予防注射のため大変混み合います。駐車場不足でご迷惑おかけする事もありますが皆様のご協力をお願いいたします。また、緊急の患者さんや診察の内容などにより順番を入れ替えさせていただく場合がございます。